

—東伊豆と**銀山**の末路—

風の 新の

第十六章



まほろば主人
宮下周平

産経新聞スクープ

- 令和5年度に想定される再エネ買い取り費用は5兆円近くになる。そのうち少なくとも2兆円、あるいは3兆円分ぐらいは回りまわって中国へと流れているのではないかと

の半額を超え
る。それを丸々
呉れてやっ
る。日本が負
るために。
誰が、これを
仕掛けている
か。誰が、こ
に乗っている
か。乗せてい
るか。事業者
の後ろで中国
が、ほくそ笑
んでいる。

何のための再エネ事業なのか。国民の為か。事業者の為か。いや、中国の為に、国民はなけなしの金を貢いでいるのだ。

11月5日、産経新聞社のスクープで、大変なことが判明した。
再エネ賦課金、年間5兆円。その内、2〜3兆円が中国に渡っていることを突き止めた。

方^え一、再エネ賦課金の行^{ゆく}

FIT (Feed in Tariff) 制度

- 固定価格買取制度
- FIT 制度とは、国が、電力会社（小売電気事業者）が再生可能エネルギー発電業者から一定期間（20年）電気を固定価格で買い取らせることを約束する制度
- 電気利用者は「再生可能エネルギー発電促進賦課金」（再エネ賦課金）を電気料金に上乗せされて負担させられている

再エネ推進の背景

- 再エネ村、再エネ利権の存在
- 自由民主党再生可能エネルギー普及拡大議員連盟（再エネ議連）
 - ・ 2016年3月設立。発足当初は約20人程度、17年10月の衆院選後に90人を超え、自民党所属国会議員の4人に1人が参加
 - ・ 会長は柴山昌彦議員、前事務局長は秋本真利議員（逮捕、離党）顧問に麻生太郎副総裁、菅義偉前総理、二階俊博元幹事長、甘利明前幹事長、河野太郎デジタル相ら
- 電気代が上がる大きな原因は、2014年以前に32円以上でFITの認可だけとった事業実態のない業者が58%もある
- その権利が転売されている
- 原価は、キロワット時10円なので、ぼろ儲け

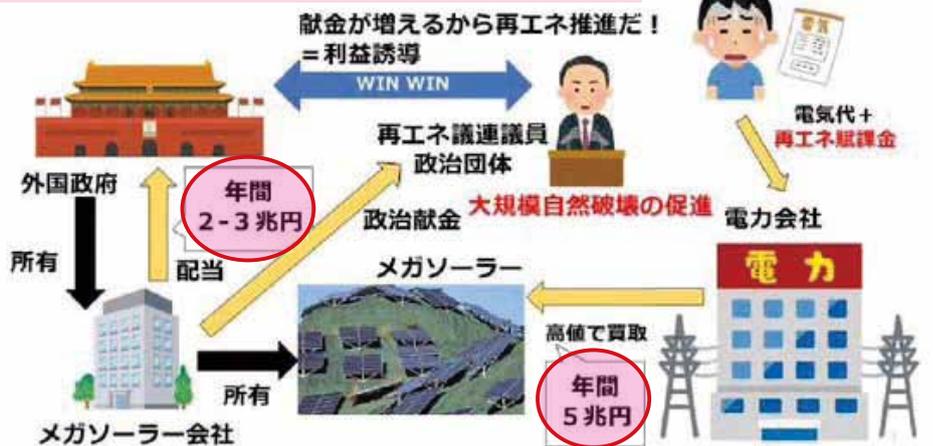
YouTube「文化人放送局」【衝撃スクープ】再エネ買い取り費用約5兆円のうち、2~3兆円が中国に流れていた／平井宏治氏が再エネの闇を徹底解説 ②【The Q&A】11/3より

再エネ賦課金を廃止しよう



https://www.sankei.com/

外資参入による国富の流出



画像：上記、YouTube「文化人放送局」【衝撃スクープ】より

まったく、国民として空恐ろしくも、虚妄の制度に驚くばかりだ。向こうは、日本国民を相戦わせて、漁夫の利を得ているのだ。逸早く、この構図を理解し、再エネ事業を、根っから見直す時期にきている。それに加担している日本政府は、即刻再エネ賦課金制度を廃止すべ

11月1日、世界最大の洋上風力発電事業者のデンマークのオース

二、洋上風力の終焉。そして、風車の最後がそこまで

きなのだ。

テッド社が、米国ニュージャーシー州の2事業を中止。65億ドル、約9、650億円の減損を公表した。インフレ前の落札、ウクライナ侵攻後のエネルギー価格の急騰により、資材高騰が、予算と大幅に乖離した。更に、この11月23日配信、ベトナムとの事業も相次いで中止。投資総額は300億ドル。約4兆4000億円だった。6月から、世界で洋上風力の建設中止が続き、エ

イノール社とBP社は800億円の評価損、ニューヨーク市民の電気料負担が約300億ドルに達した。2兆4300億円の耐え難い水準に達した。米英はインフレにより、洋上風力が立ち行かなくなり、風

デンマークのオーステッド、ベトナムでの
洋上風力発電開発を中止



© 2019 Orsted

画像出典: <https://www.viet-jo.com/>

世界最大の洋上風力発電事業者オーステッドが2事業中止の衝撃



(出所: 123RF)

画像出典: <https://xtech.nikkei.com/>

6月	米国	エクイノール/BP、オーステッドらがNY州に条件見直しを要請
7月20日	英国	バッテンフォール、ラウンド4の1.4GW落札事業から撤退
8月30日	米国	オーステッド、NJ州の3事業の減損米国見直し公表(23億ドル)
8月31日	米国	エクイノール/BP、3事業のPPA 価格54%引き上げ要請が判明
9月9日	英国	ラウンド5の洋上風力は入札ゼロ(上限価格は60ユーロ/MWh)
10月12日	米国	NY州 洋上風力事業者の条件見直し要請を拒否
10月27日	米国	エクイノール、NY州の3事業による減損公表(3億ドル)
10月31日	米国	BP NY州の3事業による減損公表(5.4億ドル)
11月1日	米国	オーステッド、NJ州2事業の中止と減損を公表(56億ドル)

車時代の終焉を告げようとしている。

日本は、何を観ているのか。北海道は、何に追従しようとしているのか。その先に待つものは、破綻しかない。風車の崩壊しかない。

石狩湾の洋上風車の群林は、数年後には、掃滅の廃墟と化するだろう。

最早、風車問題云々すべき時期は、疾うに過ぎている。

世界を観よ。既に、風車は終わっているのだ。話は、そこから始めねばならない。

三、関電、縮小発表

11月15日、道新朝刊一面トップに、「関電、後志の風力縮小へ」の大見出しを打ち、21日には最大64基から18基に変更を

2023年 11月15日 水曜日

発行所 北海道新聞社

〒060-8523 札幌市中央区大通西3-4
電話 011-221-2111
www.hokkaido-nippo.co.jp

「日本自然保護協会」の若松伸彦氏は、「道山地区の風車設置に対しては自然環境の中で自然の保護会として反対意見を出すことはできない」と発言されました。

関電、後志の風力縮小へ 最大64基を20弱に

【札幌】関電が、道南地区の風力発電事業について、後志管内の陸上での進める風力発電所の建設計画を大幅に縮小することを正式に発表した。古平、余市、共和の3町で、最大出力7万5000ワットの風力発電所を建設する計画だったが、古平町にまたがる区域で、自然環境の高水準が確保されたエリアを除外し、面積は1408haと従来計画(8546ha)の16%ほどになる。設置する風力発電機も従来計画の64基から18基に減る。今回除外したエリアのうち、南側の一部は別の風力発電所の開発事業として今後、計画を再提出する。

「日本自然保護協会」の若松伸彦氏は、「道山地区の風車設置に対しては自然環境の中で自然の保護会として反対意見を出すことはできない」と発言されました。

「仁木町の風力発電を考える会」
代表 植積豊仁 TEL: 080-1863-1306

3年(令和5年)11月22日(水曜日) 北海道

後志の風力発電縮小発表 関電、64基から18基に

【古平、余市】関電が、道南地区の風力発電事業について、後志管内の陸上での進める風力発電所の建設計画を大幅に縮小することを正式に発表した。古平、余市、共和の3町で、最大出力7万5000ワットの風力発電所を建設する計画だったが、古平町にまたがる区域で、自然環境の高水準が確保されたエリアを除外し、面積は1408haと従来計画(8546ha)の16%ほどになる。設置する風力発電機も従来計画の64基から18基に減る。今回除外したエリアのうち、南側の一部は別の風力発電所の開発事業として今後、計画を再提出する。

「日本自然保護協会」の若松伸彦氏は、「道山地区の風車設置に対しては自然環境の中で自然の保護会として反対意見を出すことはできない」と発言されました。

「仁木町の風力発電を考える会」
代表 植積豊仁 TEL: 080-1863-1306

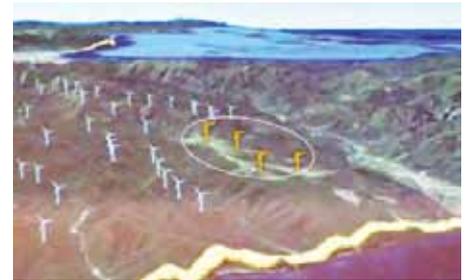
関電は、経済産業相に21日、環境影響評価方法書を提出した。従来は仁木町、共和町を含む4町にまたがる計画だったが、古平町と余市町での計画に変更した。仁木町や共和町での設置については今後も検討を続け、引続き可能性を探っていくとしている。(日経新聞)

発表。しかも名称を、仁木町を外して『古平・余市ウインドファーム事業』計画を打ち立てた。

野生稀少植物が生息しているから、との理由。既に配慮書の段階で、調査済みの結果ではないか。ましてや、同連続生態系の余市・古平には、生息していないというのだろうか。そして、22日から「方法書」の縦覧が始まった。

その終わりに「ただ、仁木町南一部の共和町との町境に広がる一部エリアについては、現在進める事業とは切り離し、別の風力発電事業として計画を再提出する見通しだ。」

関電は住民トラブルを避けた。本町はウルサイ、銀山はオトナシイ。強行できると踏んだのか。仁木町と二町を切り離し、一旦事業がしやすい古平歌棄地区の4基（生活クラブ所有）の林道に沿って、さらに切り拓ければ、工事進行機材運搬の都合の良さ、まずここから手始めとする。仁木の運動も、ほとぼりの覚めた頃、銀山計画を別称で再開するという魂胆である。



歌棄4基側から切り崩す

いみじくも、昨日まで、巨大風車建設の経験なき関電を非難していた「日本自然保護協会」の若松伸彦氏は、稲穂筋を登山しての感想を、「銀山区の風車設置に対しては自然環

Official web site 衆議院議員 中村 裕之

寿都町の風力発電を視察。

2022年09月12日

寿都町の風力発電を、自民党再生可能エネルギー推進議員連盟の役員が視察町が運営する11基の風車は毎年4億円に近い売電収入を上げ、寿都町財政に民間が運営する丘の上の風車も風況が良く、全国平均より30%以上多くの電。寿都町の風力発電の400m先に酪農家が牛を飼っていますが、牛乳の生産量は牛は正直ですね。



左：収賄容疑で逮捕された秋本真利議員。右：再エネ議員連盟・柴山昌彦会長。真中：中村裕之議員。（中村議員のWEBサイトより）



NHK NEWS WEB 2023年8月6日付より <https://www3.nhk.or.jp/>

境等の基準の中では合致してしま
うので、**反対意見を出すことは出
来ない**と、**掌を返した**かのよう
に、半ば賛同の意を示した。一度の踏
査で、協会の意向として軽率に即
断するのは、**如何なものか**。
ウインドファーム事業未経験の
関電の**不見識**、**闇雲なる建設発表**
は、これまで**悉く撤回**された。
宮城・蔵王、伊達・千歳も中止。
隣の赤井川村も休止。余市・古平も、
仁木も、全面白紙に返上撤回する
しかありえない。

四、再エネ議員連盟と 仁木町との関り

余市出身の中村裕之衆議院議員
（自民党道支部連会会長）は、昨年
9月、公式HP オフィシャルサイ
トに、寿都町の風力発電視察を、
9月収賄で逮捕された**秋本真利議
員**と再エネ議員連盟の柴山会長な
ど役員と共に訪れたことを自ら掲
載している。中村氏も、当然再エ
ネ推進議員であり、メンバーであ
る。

4月の町議選でも、**横関一雄議**

「風力発電反対」仁木の住民有志、町に陳情書



前代未聞の重大ニュースであったはずだ。これを、議会にも上げず、「広報仁木」に掲載せず、放置した。

たかが3千人の過疎の町で開かれた嘗てなかった**17回もの風車連続学習会**に、一度たりとも出席なき首長。町民の声に、寄り添わぬ町長。何故に無視出来るのか。町民の付託に、長たる重責をどう果すのか。公平・中立の精神とは。膝をすり合わせて、不偏不倚に意見を、まずは聞くことから始まるのではないか。

五、「銀山へき地保育所父母会」の要望も無視

10月25日付けで、「銀山へき地保育所父母会」の会長・所長連名で、銀山で安心して子育て保育するため提出した「巨大風車建設計画は止めて頂きたい。実施主体は関電(株)となっていますが、仁木町長としてこの建設計画を一日も早く中止する勇断を望みます。」の一文。この切実なる親たちの要望を一瞥もせず、一月放置。「建てるは関



電、町は関わりなし。副町長は『判断しない』との由。「判断しない」というなら、何故あのように会と私に対して批判するのか。「風車#7」宮下洋子著 矛盾ではないか。住民の声に対して、居丈高で連れなき町の姿勢。もっと心情籠る答え方があるだろうに。

六、古平、余市、仁木、共和の各町長

この風車の大問題を、何の論議もせず、早々に同意した**成田昭彦古平町長**。これは、独り古平だけの問題ではない。そこに建つことよって北後志全体の自然も景観も人間も影響される。仁木を外し、「古平・余市ウインドファーム事業」計画に変更しようが、その影響は

仁木にも及ぶのだ。超低周波音は、15kmでピーク、20kmまでは被害域。阻害無き処は90kmまで届く。その被害は甚大なのだ。いや、それ以上に、自然度9、10、国有林・保安林の伐採、破壊に心痛む。あなたの一存で、千年の命が絶たれるのだ。その自覚が、お在りか。

一朝一夕にして、風車の実態を学習できるものではない。独断専行で即行過ぎはしまいか。思考判断が浅薄過ぎはしまいか。

成田慎一共和町長も含めて**齋藤余市町長、成田古平町長、佐藤仁木町長**の4町長協議を重ねるを望みたい。百年万年の大計、後志の末代に、あなた方は賢いずれかの印を押されるだろう。それぞれの今は亡き先人と未来の子孫の声を、切に聞き届けられたい。

七、ワンテーブル問題

昨年22年3月30日、ワンテーブル(島田昌幸元社長)他3社と北後志広域5町村(余市町、積丹町、古平町、仁木町、赤井川村)との間で「北後志広域防災連携に係る



2月16日、世界中から**1万5000筆**の風車反対署名は、仁木町にとり道新にも載った



左：馬場赤井川村長、佐藤仁木町長、成田古平町長、松井積丹町長、斎藤余市町、一人置いて島田ワンテーパー元社長（余市町 HP より <https://www.town.yoichi.hokkaido.jp/>）



成田慎一共和町長。（共和町 HP より <https://www.town.kyowa.hokkaido.jp/>）

「協定」を締結発表。

各種災害が発生した自治体間での応援や職員派遣、支援物資の供給輸送等の復旧回復を目的としたもの。防災備品会社のワンテーパーが本領を發揮するはずだった。

特に、22年7月

余市町は、赤井川

村と共に、あのワンテーパー問題のベルリングの救急車をふるさと納税で匿名会社から寄贈された。今年からワンテーパーとの契約で、公園事業に取り組んでいるという。会社は匿すとも明らか。仁木町以前から、齋藤余市町長はワンテーパーの島田元社長とは、昵懇の仲だったという。佐藤町長は、齋藤町長から島田氏を紹介されたのだ。むしろ、舞台は余市町に移り、激震の中心地となろう。余市と仁木の蜜月。福島県国見町事件以前に、既にここから、種火は着けられていた。

2022年(令和4年)07月23日(土曜日)
北海道新聞 朝刊 地方 小樽・後志 16ページ

余市消防署に配備された高規格救急車

ふるさと納税で救急車

余市、赤井川 匿名企業が寄贈

【余市、赤井川】企業版ふるさと納税で、余市町と赤井川村にそれぞれ高規格救急車1台ずつが寄贈された。2町村から北後志消防組合余市消防署と同組合赤井川支署に無償貸与され、既に稼働している。21日に開かれた同組合議会定例会で、管理者の斎藤啓輔町長が報告した。

寄付企業は匿名を望んでいるという。新車両の価格は計約9500万円で、定員7人の四輪駆動車。シートは跳ね上げ式で処置スペースが広く、患者を運ぶストレッチャーはスイッチ一つで上下できる電動式。自動心臓マッサージ装置や輪液保温装置など高度救命用資機材を搭載したほか、新型コロナウイルス感染症対策として運転席と患者室を隔てる扉を備える。

(松嶋加奈)

2023年(令和5年)11月19日(日曜日)

余市町課長 収賄疑い逮捕

解体工事便宜で商品券

【余市】建設課長(佐藤 隆)が、解体工事の便宜を図るために、商品券を贈与した疑いで逮捕された。佐藤課長は、解体工事の現場で、業者から商品券を受け取り、自分や関係者に配布していたと見られる。商品券の総額は約100万円とされている。佐藤課長は、逮捕された後、余市町に留置されている。

参考見積もり通じ癒

【余市】建設課長(佐藤 隆)が、解体工事の現場で、業者から商品券を受け取り、自分や関係者に配布していたと見られる。商品券の総額は約100万円とされている。佐藤課長は、逮捕された後、余市町に留置されている。



「余市町汚職 再発防止へ。コンプライアンス委設置へ。町長が表明、陳謝」
(出典：北海道新聞 <https://www.hokkaido-np.co.jp/>)

北海道新聞 2022年7月23日付けより

風の祈り

道新聞、2021年11月30

八、余市町職員、逮捕劇

時も時、11月18日に余市町課長と建設業者社長とが収賄で逮捕された。その北悠建設は、仁木建設業界の事務局長でもあり、その裏を握り、仁木中心に軸足を移して、町の仕事を請け負っている。当然同じ手口で、仕事のやり取りの踏襲、想像するに難くない。大丈夫か、仁木町。

ワンテーブル問題が^{くすぶ}燃り、熱未だ冷めやらぬ今、町民としては不安である。只々、事無きを祈りたい。

九、「全線バス廃止賛成表明」と「風車推進賛成」

「…議員からの「町民の意見を反映したのか」との質問に対し、佐藤町長は、9月に4回開催した意見交換会への参加者が少なかったことを挙げ「参加者がひとつの町民の意思の表れ」と

説明した。…」(北海



日付・右

これが佐藤町長の数に依る判断基準である。

これを、風車に置き換えれば、銀山住民の**89%**、**346名**の反対署名は数ではないのか。町民3000人に対して**1158名41%**では足りないのか。**1万7916筆**(12月5日現在)、町民の**6倍**もの全世界からの反対署名数でも、推進するの。どれだけ数を集めれば、気が済むのか。

環境アセスで、中止決定の最も眼目になるのが、住民反対である。全線バス転換か鉄道存続かは、論議を尽くすべき諸問題が山積している。町民の出席数を以て即決したと同じ論理で、もし**保安林解除**、**風車建設を決定**した暁には、

徹底的に抵抗し、どこまでも糾弾したい。

十、熱海の大惨事現場に

余市町豊丘の授産施設「恵泉塾」の小野方^{まさし}さんと共に、風車建設で廃村になったという東伊豆視察に、11月10日に出立したのだった。

途中、熱海伊豆山に寄り、あの惨劇のあった土砂崩れの現場を見て、今なお復旧工事が終わらず、爪痕の癒えない様子に、すぐさま仁

木町銀山の裏山のハザードマップが脳裏に浮かんだ。

10年前から、違法の盛り土に、警告

を鳴らしていたある建築会社社長が、市に4度足を運んだが、一切聞き入れてくれなかった。そして、ついには28人の死者を出し、住宅150戸が倒壊する土石流災害の大惨事。家々の過密なる町場に起こった凄まじい一瞬の出来事。これは明日は我が身なのだ。



赤印が土石流危険渓流



熱海の土石流災害 国土交通省がドローンで撮影
画像：www.youtube.com/@SankeiNews より



警告を発するも聴く耳を持たぬ国や道や町の首長。この反対の声は、必ずや国の後悔の木霊^{こだま}となる。

十一、風車問題の原点 東伊豆を視察

10年前の東伊豆の風車問題は、今もなお日本の問題である。

それは、風車病で廃村になった、ともいえる風車のメッカでもあったからだ。

熱海の高台に多くの別荘が点在するように、同じ地形の東伊豆^{あした}熱川^{あつがわ}には、別荘が急峻の曲がり坂の要所要所に建てられていた。

東京でのキャリア組が、別荘を建てて定住し、絶景の中、余生を楽しむ方々が多かった。そこに風車問題が勃発したのだ。

仁木・余市に比せば1500kwの1/4ほどの出力であるが、1km圏内に121名の永住者が居り、それで途轍^{とてつ}もない健康被害をもたらせたのだ。いわゆる「風車病」。その反応の過敏さは、下に掲げる表が何よりも物語っている。



風車停止による被害の改善: 自治会第3回調査(09/7/1-7/26・資料6-2)

風車からの距離 R(m)	永住者 (人)	回答者 (人)	改善された人 (人)	改善率 (%)
R< 500	31	17	16	94
500< R <700	53	41	31	76
700< R <900	27	16	15	94
900< R	10	3	1	33
合計	121	77	63	82

静岡県東伊豆町「熱川風車被害者の会」ヒアリング資料より

するに時を俟た^{まち}なかつた。事業者は、それに応じ、試験的に風車を停止ストップさせた。すると驚くべきことが起こったのだ。永住者**121人中**、回答者が**77人**、改善された人が**63人**、何と**82%**も改善率が上がったのだ。8、9年度の同調査も同じ結果だった。その症状が明らかに止んだのだ。そして、再び稼働すると、以前と同じ症状が再発した。その再開と同時に次々に倒れて、惜しむらくも多くの方が急逝された。

田舎の老人と違い、都会から移住した方々は、黙することなく、すぐ文章にし、声にし、数字にすることに躊躇^{ちゆうちよ}しなかつた。09年7月、風車付近の住民、1km以内の定住者を対象に調査した。それを纏^{まと}め、発表し、提訴



廃墟となった家屋

この病変は、明らかに風車が原因である事の証拠を突きつけたのだった。その為、事業者は条件稼働を余儀なくされた。夜間には、停止させる。昼間も抑制運転をせざるを得なかった。

十二、知事の見解

そこで、躊躇なく、住民は環境省へ要望を突きつけた。

●「環境影響評価法」の義務付け。

●風車被害に鑑み「参照値の風車への非適用の徹底」。

●風車被害の疫学的調査の早急実施。

すると、静岡県川勝知事は、議会答弁において、

「伊豆半島におきまして低周波による被害が相当出ているという事実認識を持っています。従いまして、これについては十分に慎重に取り組んで参りたい。人の生命をあるいは生活を脅かすようなものは、たとえ新エネルギーとしても素直に認め

る訳には行きません。」

鈴木北海道知事に、果たして、こう言える見識と勇断があるのか。

そう書けば、簡単であるが、その間の住民闘争は、耐え難かった。しかし、鎮まるまでに、多くの人はそこを後に去って行ったのだった。「風車で廃村になった」とのニュースが流れたのは、そのためである。今回、熱川を訪ねたが、あれから15年前後経ち、残念ながら多くの人々は移住し、或いは高齢のため入院者、逝去者が多かった。

十三、重篤患者の証言

熱川の風車から距離350mの重篤患者の女性(71歳)は、

「天目地区の風車10基が家の方に向かって回っている。音が異常で起きて歩けなくなった。動けば少し楽になるが、体が硬直したようになり、手足はしばらく動かない。食事の支度をするのがようやく、掃除などは出来ない。10基回り始めた時、このままでは死ぬのでは

ないかと思った。頭が重く、耳の後ろが腫れて痛く、視野が狭くなり、目の前が良く見えなくなった。家を離れると症状はなくなる。耳の痛みが逆になり、右から左になった。膝にも痛みが出て歩行困難のようになった。」

更に、同じ熱川、風車から500mの重篤患者・女性(75歳)は、

「3月中頃、風車が全部(10基)回りました。予想以上に大きい音で、家の中では電気の紐が揺れたり、食器棚のガラスがガタガタと振動するほどでした。夜間は特に恐ろしく、この騒音がこれから一生続くのかと考え出したら、もう例えようのない絶望感に襲われました。」

これが、仁木銀山では、日本ではかつ



最頂、行き止まりの道に家屋。人の気配がない。

て建てたことのない熱川の4倍の6,100kw、200m級が6510基建つのだ。この程度の被害報告では収まらないだろう。即、凄まじい症状、反応が出ることは想像するに難くない。「日本自然保護協会」の若松氏は、10月の仁木町学習会で、「**医学者のエビデンスがない限りこの「風車病」は受け入れない**」と断言し、**「補償金が町に入ったら、途端に症状が治まった、そんなものです」と、侮蔑的明言をされた。東伊豆の故人は、これをどう聞くであろうか。**

十四、由良氏の証言

和歌山県由良町の元町議で農家の由良守生氏は、自ら風車病に罹り、訴えたが、周りから気遣い扱いされ、困苦困窮の中『風力発電の被害』を著されたとに言及している。



画像：https://yuramorio.com より



……東伊豆の熱川では、ウインドタービン稼働中に亡くなった方が6人に上っている。死因はくも膜下出血が2名、心筋梗塞1名、脳内出血1名、その他癌なお2名。この方々はみな高齢者で、みな持病を持っていらつしやつたため、風車との関係はないとされているけれど、全員風車が停まっていた期間（事故で長期運転停止）には元気があったのが、稼働再開した途端、しかも稼働後、前日までは元気だったのが、

風車が実際に動いている時間に体調が急変して亡くなったという。住民たちは月に一度、町の定期検診を受けて血圧などを測っているが、風車が稼働しているときに血圧が目立って上昇することは既にデータで明らかになっている。それでも、行政も事業者も「因果関係は証明されていない」の一点張り、風評が広がることを警戒するだけだ。……

現に、**環境アセスメントには、この風車病に対しては一切盛り込まれない**ことが決められていた。この情緒なき国の判断、心なき取り決めが、日本が衰退没落の一端を辿る原因であることを誰が知ろうか。戦後教育の洗礼を受けた為政者では、如何とも修正が効かない崖っぷちに日本は立たされている。

環境省「平成22（2010）年度移動発生源の低周波音等に関する検討調査等業務報告書」には、「これまでの知見によれば、低周波音曝露による健康影響が出やすい人の特徴として、

- ① 精神的疾患を有する人、あるいは精神疾患の気質を有する人
- ② その他の身体疾患を有する人
- ③ 強いストレスを受けている人

のように記載されている。」

これらは、**1999年のWHOのガイドラインに反している。**

これは、あまりにも酷すぎはしまいか。

十五、偽善自然運動家

さらに、そこに追い打ちをかけるように市民活動を阻止するのが、**分断工作員、国の手先**だった。死線を彷徨った由良氏は、さまざまに妨害に遭って、忍び寄るスパイと偽運動家を見抜く眼も養った。

「このような御用運動家は、一見すごく真面目で誠実そうに見える。低周波被害、低周波のことも詳しい。低周波被害に苦しむ人々に寄り添うように活動しているようにみえるだけに、彼らの言葉は頗る効果的なのです。……」

地域社会からもヘンな目で見られるようになって、その不安に付け込んで御用運動家が第三者とし

て黙らせる。同時に、私のように、諦めずに被害に、権威に立ち向かうものを「**本当の敵**」として排除するために、繰り返して、批判して、貶めて、**危険人物**として追放するのです。私にとっては、**風力発電に反対か、賛成か、それだけです。**」

どこかの誰かと誰かに、似ていまいか。「自然」とか、「保護」とか、「協会」とかの美名と権威を装いながら近付く、インテリの**環境通**には気を付けられたい。

十六、訣別の辞、励ましの辞

ここに、この世との訣別の辞がある。

「何もこんな近くへ建てなくてもと思い、切ってやりたい。あの風車の下で死んでしまいたい」

と、和歌山の谷口愛子さんは言い遺し書き残して、体調を崩し、急にお亡くなりになった。生前、「**大型風車が複数建つ計画の有る北海**

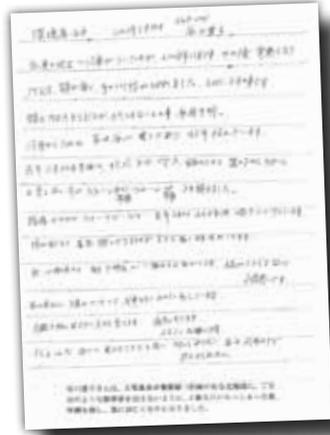
風の祈り

「北海道の皆さま、仁木町と余市町の方が、東伊豆に風力発電

そんな背
景の中で、
「銭函海岸の
自然を守る
会」の後藤
美智子さん
に紹介され、
覚張敏子さ
ん宅を訪ね
た。それまで
の経緯を話さ
れ、そして最
後に、我々に
力強いメッセ
ージを頂いた。



覚張敏子さん宅にて



谷口愛子さんの記録と辞世の言葉

道に、自分のような被害者を出さないように」と、訴えておられた直後であった。

を調べに来られました。東伊豆では、天目という山に風車が建ちました。その当時は、1500kwで10基建ち、直ちに健康被害が生じました。そのため、そこに居られずに、引越された方もいます。やはり、自然エネルギーでイイとは言っても、全てイイということではなくて、やはり健康被害であるとか、あるいは自然破壊であるとか、そういうことに配慮してこそ、自然エネルギーだと思えます。お聞きしますと、仁木町と余市町では、随分規模の大きな風車を建てる計画があるようですので、やはりみなさんよく自分で考えて調べて、行動されていいと思います。東伊豆では、結局それで苦しまれた方が沢山出ました。三筋山でも、大きな風車が建って景観がメチャメチャになっています。みなさん頑張ってください」と。

十七、銀山の末路

この方たちの苦しみと遺言を空しくしてはならない。この一基の規模が4倍もある、未だ日本で稼

働していないメガ風車が、どのようなものであるか想像できない。その像、その音、その影、その振動、その唸り、凄まじいはずだ。いや、確定的なのだ。このままでは、銀山の住民は、

① 風車稼働直後から、住民の80% 100%に何らかの症状が、間違はなく出るであろう。

② 即刻、転居移住を余儀なくされる家族が、ほとんどを占めるであろう。

③ 後継者は、止む無く、その土地を離れ、農地は荒れ果てるだろう。

④ 施設や学園も、そこに開設し続けることが、出来なくなるだろう。

⑤ 誰も、その家、その土地、その畑を買う人は、居ないだろう。一銭の価値も無くなる。

⑥ ましてや、その銀山に移り住む新規就農者は、誰一人としていないであろう。

⑦ かくして、銀山は、間違いなく、廃墟、廃村、ゴーストタウンになるだろう。

これは脅しても何でもない。現実には、必ず起こり得ることなのだ。銀山ばかりでなく、本町の住民として、この風評被害、いや実被害の影響は、仁木全体に及ぶことは、免れないのだ。仁木は、凋落・没落の一途を辿るのである。それは、確実に風車が、その引き金となるのだ。



銀山駅真横の今村さん宅。真後1km以内に威容なる巨大風車は圧迫感を以て迫る。そして家の裏すぐは、緑の回廊で熊との出会いは頻繁に起こるだろう。

十八、去った人々、来ない人々

銀山の篤農家○△さんは、里山の生き字引である。水田、畑、猟師、木工、蕎麦打ち、大工、何でもござれの達人である。そこに弟子入りした鈴木夫妻（まほろば自然農園の研修生）。居抜きで後継者になる後半生の設計であった。昨年7月、契約し、入金する直前に、風車問題が勃発。電磁波過敏症の奥様は、そこでは生きていかれず、泣く泣く諦めて岩内から本州に移住してしまったのだ。これで後継者が無くなり、新規就農者二人が消えた。それが次々と起こっているのが現実なのだ。

また、銀山人口の10haの大地に「こども農学こう」と「みんなの家」を建てる予定だったが、眼前800m以内に風車建設との発表。全国・道内から移って来るべき子供も年寄りも、若人も、「懐かしき未来」（略称「なつさと」）作りの夢が破れて、多くの人々の仁木移住が御破算になってしまった。これで、人口減少の歯止めへの道



高さ 200 mの風車イメージ合成



○△農園からわずか 800 mの所に風車計画

は絶たれてしまった。

銀山・篤農家の農園を継承する予定が、**破綻!!**



朝日を映す田園風景の○△農園

町長、副町長へ。

これを決めた後、あなた方は何処に居られるのだろうか。そそくさと決定して、任期を終えれば、どこかに移るであらう。

後に遺された仁木の住民は、どうなるのか。何処にも動けない町民を、どうするのか。

あなた方に、心から、町民の未来を託せられるのか。或いは、風車の建つ銀山に、一緒に住んで戴けるのだろうか？

仁木町の風力発電を考える会

仁木町大江 1-341-44 代表 穂積豊仁

TEL: 080-1863-1306

【仁木風 HP】 <https://niki-wind.main.jp/>



風の祈り—第 16 章

2023 年 12 月 1 日発行

発行所：株式会社まほろば

NATURAL & ORGANIC

自然食の店 まほろば

札幌市西区西野 5 条 3 丁目 1-1

TEL:011-665-6624 FAX:011-665-6689

www.mahoroba-jp.net

